

管理医療機器
機械器具6 呼吸補助器
酸素治療フローメータ
コード 37132000
フローセクター (セレクト流量計3MFAシリーズ)

JPMF0024

【警告】

使用方法

- ・使用前に必ずボディー本体を回してロックすること。[正常な流量が流れないおそれがある。また、故障の原因となる。]
- ・患者に正しいアウトレットポートから酸素が流れていることを確認すること。[他のアウトレットポートから酸素が流れていると患者に酸素が流れない。]
- ・患者に適用する前に必ず処方流量を確認し、使用中は定期的に流量をモニターすること。[患者が酸素欠乏症になるおそれがある。]

【禁忌・禁止】

併用医療機器「相互作用の項参照」

- ・本品はMR Unsafeであり、MR検査は禁忌とする。

【形状・構造及び原理等】

本品は恒圧式の酸素流量計で、フローセクターを一体化しています。本品には以下のとおり差込口形状違いがあります。

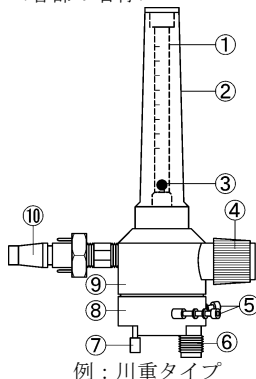
差込口形状: 川重タイプ、アムコタイプの2種類

供給ガス: 酸素

流量範囲: 0~15L/分

なお、本品はDISS規格のメスネジを有する加湿ビンと接続可能です。

<各部の名称>



例: 川重タイプ

番号	名称
①	フローチューブ
②	ハウジング
③	フロートボール
④	ノブ
⑤	ガス排出側接続部 (チュービングコネクター)
⑥	ガス排出側接続部 (9/16インチオスネジ: DISS MALE)
⑦	ロックボタン (押し上げればロック解除、自動復元)
⑧	セクター部
⑨	ボディー(本体)
⑩	ガス供給側接続部

【使用目的又は効果】

本品は、医療用酸素を必要とする患者にこれを供給する際に、医療施設内に設置されている酸素供給口に接続して、「酸素供給流量調節」及び「酸素の供給流出口切り替え」を目的とする装置である。

【使用方法等】

- 製品に損傷がないかどうか調べてください。
注: 損傷が見つかった場合は使用しないこと。
注: フローチューブが垂直に取り付けられている製品を使用すること。
- ノブをオフの位置に回してください。
注: 流量を止める時にノブをきつく締めすぎると製品が損傷するおそれがある。
- 製品を酸素供給口に接続してください。適正なガスと圧力はフローチューブに表示されています。製品に表示されていない圧力は、表示された流量の精度に影響します。
注: 製品を酸素供給口に接続する時は、指定された形状のものを使用すること。
注: 酸素供給口に垂直に接続されていることを確認すること。
- フロートボールがフローチューブの底にあることを確認してください。
注: フロートボールがフローチューブの底になければリークしている。弊社にお問い合わせください。
- 流量調整
流量を増やす場合は、ノブを反時計回りに回す。
流量を減らす場合は、ノブを時計回りに回す。
- フローチューブの表示ラインにフロートボールの中心を合わせ

て流量設定してください。

注: 患者に適用する前に処方流量を確認し、使用中は定期的に流量を測定すること。

7. 流量が最高測定表示ラインを超えると、流量の測定が不正確になります。
8. フラッシュフローにするにはノブを反時計回りに最後まで回してください。
注: フラッシュフローとは、無制限の流量でフローチューブの最高測定表示ラインを超える流量のことを指す。
9. アウトレットポートには3種類の酸素療法用具を接続できます(同時に使用することはできません)。
注: 流量は“オン”の矢印で選択された方向にのみ流れ、“オフ”の矢印の方向には流れません。
10. ロックボタンを上にし“オン”の矢印を希望するアウトレットポートが合わさるようにセクター部を回してください。“オフ”の矢印は他の使用しない2つのポートに並びます。
注: 使用前に必ずボディー本体を回してロックすること。
注: 流量計を作動したら、患者に正しいアウトレットポートから酸素が流れているか確認すること。
11. ロックボタンを下げてボディー本体にロックしてください。

<使用方法等に関する使用上の注意>

使用前に以下の点を確認すること。

- ・接続部分が完全に締まっていること。
- ・リークテスターを用いてリークテストを行うこと。
- ・希望するアウトレットポートにセットされていること。
- ・ボディー本体とロックされていること。

※使用中はオイル、グリース、その他可燃性物質は製品に近づけないこと。[爆発又は火災の危険性がある]

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・滅菌しないこと。

※<相互作用(他の医薬品・医療機器との併用に関すること)>

- ・併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	本品と併用しないこと。	本品はMR Unsafeである。

【保管方法及び有効期間等】

※<保管の条件>

- ・直射日光の当たらない、塵埃を避けた清浄な場所にて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

- ・使用前後に製品の破損がないか確認をすること。
- ・感染症の部屋及び患者に使用する前後においては、必ず他の器具との接続部(金属部)は消毒を行うこと。
- ※汚れている場合、製品の外面(ボディー部、ハウジング部、接続部)を中性洗剤か水で湿らせた布を用いて拭き取ること。
注: 製品を液体に浸さないこと。
- ・保守・修理に関しては、弊社にお問い合わせください。
- ※注: 保守の際に分解を行わないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

株式会社ジェイエスエス
大阪市中央区道修町1-6-7 TEL:06-6222-3751

■外国製造所

プレジジョンメディカル社
(Precision Medical, Inc.)
アメリカ

お問い合わせ先



株式会社 インターメド ジャパン

TEL:06-6222-1951